

国労東日本工作協議会第8回学習交流会開催



工作協議会小野議長挨拶

4月13日、14日、仙台市（作並）において第8回東日本工作協議会学習交流会が開催され、来賓並びに東日本エリアの工作協議会に所属する支部・分会から約50名（支部から日帰り・泊まりを含め14名参加）が結集し、昨年強行された「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進」や各支社での合理化事業、組織対策等の学習・意見交換を行いました。

学習交流会は、初日（13日）に司会の鈴木副議長から「この一年間、外注化や組織拡大もあつた。様々な運動について報告し学びながら今後の運動の糧にしたい」との開催の挨拶に続き、主催者挨拶として小野議長から「8年前、この場所のこの会場で第1回工作交流会が開催された。それから回を重ね、分散会を行った方がいいとか講師を呼んで話を聞くという意見があり、それらの議論をふまえ昨年からは分散会を行っている。今回の分散会は4つのテーマで行うことにした。」

そして分会の皆さんからも報告をしてもらうという事で、明日には参加した約20分会から報告がありました。

14日では、分散会報告、各分会からの報告・集約と続き、最後に団結カンパニーで終了となりました。

告がある。是非、職場の問題や決意表明、意見や思いを出してもらいたい。

この2日間で身のある交流会にし、それぞれの職場に持ち帰るに役立つ交流会にしたい。高橋書記長より、この間行われた合理化事業や春闘での取り組み等を報告し「このような機会に、皆さんの意見を現場に持ち帰って次の取り組みの糧にした」と挨拶を来ないました。

そして来賓として仙台地本・原子執行委員、東日本運輸協議会・長谷川議長から連帯の挨拶に続き、本部・小池業務部長と東日本本部・矢部法対部長より、国労の最重要課題である組織強化・拡大の取り組みや政治状況等をはじめとする情勢報告が行われました。

全体で、春闘・グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進について・二〇一三年問題についての学習と共に、組織強化・の重要性の認識を深め合ってきました。



第81回メーデー塩釜地方大会開催される

4月27日（土）に塩釜市・海浜緑地公園において、第81回メーデー塩釜地方大会が開催されました。

司会の挨拶、議長団選出に続き、主催者挨拶で小野実行委員長は「私たちは要求の実現の闘いを組織された労働組合として取り組み、その波及効果を全ての労働者に広げていくことが震災以降の春闘に求められている」と挨拶が行われ、来賓挨拶では民主党、福祉団体（ろうきん、全労済）からの挨拶、メッセージ披露、アピールと特別決議の採択が行われ、集会最後には抽選会があり、集会終了後、デモ行進が塩釜市内において行われました。

尚、このメーデーには支部より20名が参加しました。

仙台地本主催『安全を検証する集会』開催

4月25日（木）、仙台市・花京院スクエアにおいて、国労仙台地本主催『4.25安全を検証する集会』が開催されました。

この取り組みは、二〇〇五年4月25日に発生した痛ましいJR西日本福知山線脱線転覆事故を私たちの意識の中から風化させないため、二〇〇六年4月に第1回目の集会を開催し（当日、郡山市でも開催）、今年で7回目の開催となりました。

集会の冒頭に参加者全員で、痛ましい事故で犠牲になられた方々に対し黙祷を行いました。

主催者挨拶として大沼委員長から「本日の集会は、4月25日

の事故を忘れないということだけでなく、その後の会社の経営施策、儲け優先で安全は二の次という事態を引き起こさないように労働組合としてしっかりとチェックする意味も込め、また私たちの運動の確認をしていく日にしてほしい。」との挨拶がありました。

続いて、中島副委員長より地本安全プロジェクト活動報告があり、次に仙台電気協議会千葉議長より「踏切鳴動時における交渉経過の成果と課題について」、仙台運輸協議会石塚議長からは「東日本大震災の教訓と現状について」報告が行われました。